

SEMI E41.1-0996

例外処理スタンダードへの SECS-II のサポート

免責事項:この SEMI スタンダードは、投票により作成された英語版が正式なものであり、日本語版は日本の利用者各位の便宜のために作成したものです。万が一英語と日本語とに差異がある場合には英語版記載内容が優先されます。

1 目的

本文書ではこの主要文書である SEMI E41 のサービスおよびデータを SECS-II ストリームおよびファンクションおよびデータ定義にマッピングしている。

2 範囲

これは、例外および回復に関するリモートコントロール通信を提供する例外処理スタンダードを SECS-II メッセージフォーマットを使って実装する標準的な方法である。

3 参照文書

3.1 SEMI スタンダード

SEMI E5 — SEMI Equipment Communications Standard 2 Message Content (SECS-II)

SEMI E41 — Exception Management (EM) Standard

4 用語

なし。

5 例外処理メッセージのマッピング

表 1 例外処理メッセージの SECS-II マッピング

サービスメッセージ名	ストリーム, ファンクション	SECS-II 名
EXPost 通知	S5F9, F10	例外揭示通知／確認
ExCleared 通知	S5F11, F12	例外クリア通知／確認
EXRecover 要求	S5F13, F14	例外回復要求／確認
EXRecoveryComplete 通知	S5F15, F16	例外回復完了通知／確認
EXRecoveryAbort 要求	S5F17, F18	例外回復中断要求／確認

6 例外パラメータのマッピング

表 2 例外データアイテムのマッピング

パラメータ	SECS-II データアイテム
ErrorCode	ERRCODE
ErrorText	ERRTEXT
EXAck	ACKA
EXEnabled	EXENABLED
EXID	EXID
EXMessage	EXMESSAGE
EXRecovery	EXREVR
EXState	EXSTATE

パラメータ	SECS-II データアイテム
EXType	EXTYPE
Timestamp	TIMESTAMP

7 インプリメンテーションの詳細

7.1 例外処理サービス(EMS)の中のいくつかの性能にはオブジェクトサービススタンダードを使ってアクセスする。例外オブジェクトは持続性である。EMS のインプリメンテーションに準拠しているオブジェクトサービスは、例外オブジェクトのために SEMI E5 のオブジェクト定義表で規定されている属性全部へのアクセスを可能にする。

下記にアクセスするにはインプリメンテーションは全てオブジェクトサービスの GetAttr および SetAttr を使用する:

EXENABLED

EXSTATE

注 1: EXSTATE はリードオンリーである。

注意: SEMI は、本書に定められたスタンダードが個々のケースに適するか否かの保証も言明もしていない。スタンダードの適、不適を判断するのは、利用者各位の責任となる。また利用者各位は、ここに記載されている製造者の指示、製品ラベル、製品データシート、そのほかの関連文献を必ず参照のこと。なお、このスタンダードは予告なしに変更されることがある。

このスタンダードを発行することにより、SEMI は、このスタンダードの中に記載された各項目に関連する特許権または著作権の効力の有無について責任ある立場にはない。各特許権または著作権の有効性および権利侵害の危険性についての判断は、このスタンダードを使用する利用者各位の責任となる。

免責事項: この SEMI スタンダードは、投票により作成された英語版が正式なものであり、日本語版は日本の利用者各位の便宜のために作成したものです。万が一英語と日本語とに差異がある場合には英語版記載内容が優先されます。